

記事を読んで、問いに答えなさい。

2022年3月16日朝刊

天浜線 地域と歩み35年

記念ヘッドマークやイベントでPR



「沿線に還元」

第三セクターの天竜浜名湖鉄道の両
 浜名湖鉄道（浜松市天竜区）は15日、営業開始から35年を迎えた。前身の旧国鉄「俣線」から路線を引き継ぎ、地域に還元する取り組みを進めている。記念ヘッドマーク車両の運行を皮切りに、今後は記念商品やイベントなどを通じて35周年をPRしていく。

同鉄道は、1940年に全線開通した旧二俣線（掛川―新所原）の廃線に伴い、87年3月15日に天竜浜名湖線の営業を開始した。地域の通勤・通学者に加え、沿線の風光明媚（いび）な景色やレトロな施設が観光客を集めている。近年では相次いで人気アニメのモデル地にもなり、全国からファンが訪れる。

同日から装着された2種類のヘッドマークのデザインは社員が考案。「35th」の文字が営業開始35周年の記念ヘッドマークを車両に取り付ける松井社長（浜松市天竜区）の天竜一俣駅

松井社長は「地域に支えられてきた35年。今後は天浜線が地域の活性化の旗振り役になれるよう、沿線に還元できる取り組みに力を入れていきたい」と話した。

を中心に、同社のイメージカラーや沿線の名産品をあしらった。装着期間は1年間。このほか、松井直止社長直筆の鉄印（限定35枚）や開業当時から使われている線路の敷石が入った缶詰も発売した。

①天竜浜名湖鉄道の会社の特徴である第三セクターとは、どのような運営方式か。次の語句を必ず使って説明しなさい。 < 静岡県、資金 >

②現在の天竜浜名湖鉄道の前身となる路線とは、どこか。記事中から抜き出して答えなさい。（ ）

③近年全国から天浜線にファンが集まっている。その理由を、記事を参考にしながら説明しなさい。

年 組 名前



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2022年3月16日朝刊

天浜線 地域と歩み35年

記念ヘッドマークやイベントでPR



「沿線に還元」

第三セクターの天竜浜名湖鉄道の両輪を自指した営業を続けている。記念ヘッドマーク車両の運行を皮切りに、今後は記念商品やイベントなどを通じて35周年をPRしていく。

同鉄道は、1940年に全線開通した旧二俣線（掛川―新所原）の廃線に伴い、87年3月15日に天竜浜名湖線の営業を開始した。地域の通勤・通学者に加え、沿線の風光明媚（いび）な景色やレトロな施設が観光客を集めている。近年では相次いで人気アニメのモデル地にもなり、全国からファンが訪れる。

同日から装着された2種類のヘッドマークのデザインは社員が考案。「35th」の文字を、同社のイメージカラーや沿線の名産品をあしらった。装着期間は1年間。このほか、松井宣正社長直筆の鉄印（限定35枚）や開業当時から使われていた線路の敷石が入った缶詰も発売した。

松井社長は「地域に支えられてきた35年。今後は天浜線が地域の活性化の旗振り役になれるよう、沿線に還元できる取り組みに力を入れていきたい」と話した。

①天竜浜名湖鉄道の会社の特徴である第三セクターとは、どのような運営方式か。次の語句を必ず使って説明しなさい。 < 静岡県、資金 >

（例）静岡県や天竜浜名湖鉄道の沿線自治体、民間企業がそれぞれ資金を出し合って運営している方式。

②現在の天竜浜名湖鉄道の前身となる路線とは、どこか。記事中から抜き出して答えなさい。

（例）旧国鉄二俣線

③近年全国から天浜線にファンが集まっている。その理由を、記事を参考にしながら説明しなさい。

（例）天浜線の駅が人気アニメのモデル地になり、アニメツーリズムの活用が進んでいるため。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 伊藤大介（静岡聖光学院中学・高校 教諭）

（中学校～高校／社会、総合）